

## 第5期稲毛区支え合いのまち推進計画について

### 1 支え合いのまち千葉 推進計画（第5期千葉市地域福祉計画）

近年、少子高齢化・核家族化の進行、価値観の多様化、共働き世帯・人生100年時代を踏まえた働く高齢者の増加などにより、地縁・血縁による支え合う機能は低下し、人と人とのつながりの希薄化が進んでいるとされており、担い手の不足などにより、地域福祉活動の継続が難しくなっている地域も出てきています。その一方で、個々が抱える生活課題は、複雑化・多様化し、分野をまたぐ複合的な課題を抱える世帯が顕在化、増加しています。

こうした状況を踏まえ、市民の誰もが世代や分野を超えてつながり、地域、暮らし、生きがいとともに創る地域共生社会の実現を目指し、今後の方向性や地域福祉の推進に係る具体的な取組みを定めた「支え合いのまち千葉 推進計画（第5期千葉市地域福祉計画）令和4～8年度」を策定しております。

#### <計画の構成>

本計画では、地域福祉を推進する活動主体により取組みの体系を、地域住民の参加と連携により、地域福祉に関する活動を推進・実践する「地域の取組み」と、地域福祉に関する行政施策を定めた「市の取組み」の2つに区分しています。

地域の取組みは、各区の地域住民等が主体となって定めたもので「区支え合いのまち推進計画」として位置付けています。

地域福祉計画		
	地域の取組み →区支え合いのまち推進計画（各区で策定）	市の取組み
位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の特性に応じた、住民に身近な計画</li> <li>・地域の課題に対応するため、地区部会エリアごとに重点取組項目を定め、様々な主体（地区部会、町内自治会・民生委員・児童委員、赤十字奉仕団、老人クラブ、ボランティア団体、NPO、学校・PTA、社会福祉事業者など）が協働して策定・推進する計画</li> </ul>	基本目標や市としての方向性、取組みを示すことにより、多様な主体とともに、地域の取組みをしっかりと支え、地域住民の地域福祉活動を支援する計画
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民主体の活動により解決を目指す課題に対する取組み</li> <li>・地域の課題の解決に向けた、地域の人材と資源を活かした身近な支え合いや健康づくりなどの取組み</li> <li>・支援が必要な人の日常生活に連動した支援策、取組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民活動の基盤整備に関する取組み</li> <li>・地域の取組みを進めるために必要な市による支援策</li> <li>・分野別計画を横断的につなぐとともに、制度の狭間を埋める取組み</li> <li>・区域では解決できない福祉課題に対する市域での取組み</li> <li>・市全域で中長期的な視点をもって進めていくことが必要な取組み（コミュニティソーシャルワーク機能の強化など）</li> </ul>

## 2 稲毛区支え合いのまち推進計画（第5期稲毛区地域福祉計画）

### （1）基本目標

**まち**  
**みんなで支え合い、安心して暮らせる稲毛をめざして**  
～心のバリアフリーから始まる“地域発”の取り組み～

稲毛区では、住み慣れたまちで誰もがその人らしく安心して毎日をすごせるよう、地域住民のつながりを構築し、支え合い、助け合える相互協力体制づくりを目指しています。この基本目標は、2006（平成18）年の第1期計画策定当初から掲げる稲毛区の目指すべき将来像であり、第5期計画においても継続をしております。

### （2）基本方針

稲毛区の目指すべき将来像である基本目標を達成するため、3つの基本方針に基づき、計画に取り組みます。この基本方針は、これまでの計画のものを引き継ぎつつ、区の課題を踏まえた見直しを行っております。

#### ＜基本方針1＞ みんなの様々な居場所と健康づくり

高齢者をはじめ、誰もが地域の中で健康でいきいきと過ごせる場づくりを進めます。

#### ＜基本方針2＞ 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり

地域の中であいさつができる顔の見える関係から、担い手を拡大し、支え合い、助け合う取り組みを進めます。

#### ＜基本方針3＞ 災害などに備えた安全・安心なまちづくり

安全・安心なまちづくりとして、日ごろから緊急時等に備えた取り組みを進めます。

### （3）具体的な取組み及び重点取組項目

新型コロナウイルスの感染拡大により地域活動が制限されていることから、「具体的な取組み」及び「重点取組地区」については、令和5年度中に実施する中間見直しまでに区支え合いのまち推進協議会で検討を行い策定することとしています。それまでの間は、第4期計画の取組みを参考に、工夫しながら、できることに取り組むこととします。

